

新しい総合体育館 整備に当たっての市の考えは

新たに求められる 機能や役割などを整理し 検討を進めていく



▲整備に向けて議論が進む

宮田 よしひと 議員(市政)

新しい総合体育館の整備に当たっては、「みる」スポーツの推進という視点を持ち、施設利用者の興行がビジネスと

高齢化が進む市営住宅の自治会運営 費用面以外でもサポートが必要と思うが市の考えは

民間等に参考となる取組があるか 調査・研究していく

西村 陸 議員(公明)

市営住宅の入居者には、共同で共用部の維持管理を行うことが求められており、その点からも自治会への加入が促されている。そこで、市営住宅の住ま

いのしおりの、自治会の項目に、共用部の管理運営のために住民が果たすべき役割を具体的に記載する考えはあるか

都市整備部長 現状の住まいのしおりでは、自治会の親睦的な活動内容と共用部の維持管理に係る記載が混在しているため、修正していきたい。

府中基地跡地留保地 価値を生むものにしてほしいか

多摩地域の拠点となるような土地利用を図っていく

杉村 康之 議員(自由)

これまで競馬場や東芝、NEC等多くの事業所が様々な波及効果を与えてきたことで、市の発展が今に至っている。府中基地跡地留保地もそれらに匹敵する場所になり得ると考えるが、市の将来にとってどのような価値を生むものにしてほしいか

市 同留保地の土地利用は市の発展に大きく影響すると考えている。本市のスポーツタウンなどのブランドイメージや生活環境の向上等にも寄与することで、未来ににぎわ

本市のまちづくりに直結する 自転車活用推進計画の策定は 必須と考えるが市の認識は

先進市の事例を参考に 自転車の更なる活用について 計画策定を含め調査・研究を行う

奈良崎 久和 議員(公明)

市は令和5年度から8年間を計画期間とする交通安全計画を策定したが、その概要、特に自転車の安全利用の内容は、

市 交通安全事故数が3年度に増加傾向へと転じたことなどを踏まえ、同計画では子ども及び高齢者の交通安全確保や自転車の安全利用の推進など7つの視点を重視している。市内の交通事故の約4割が自転車事故で、原因の多くが安全不確認等の違反を伴うこと



▲自転車利用の推進へ

手作り給食の維持発展は 欠かせないと考えるが 市の決意は

学校給食費を無償化した場合でも 手作り給食は継続して提供する



▲手作りでおいしい学校給食

にしみや 幸一 議員(市友)

市では、手作り給食を基本として安全・安心でおいしい学校給食の提供に尽力しているが、その具体例は、また、手作り給食を維持する上での工夫は、

教育部長 手作り給食の具体例として、カレーやグラタンはルーを給食センター

会計年度任用職員 時給の見直し 必要 対応を行う

都の最低賃金が引き上げられるため 必要な対応を行う

西の なおみ 議員(無所属)

会計年度任用職員の処遇改善を求めたいが、時給や手当について見直しの予定はあるか

人事・法制担当参事 時給については、令和5年10月から都の最低賃金が引き上げられるため、必要な対応を行う。手当の見直しについては、6年度からの勤勉手当支給を可能とする法改正があったが、

具体的な支給方法の整理等をする必要があり、都や他市の状況も踏まえ検討する。 議員 官公庁の非正規職員で

1で作るところから調理している。だしについても、鶏ガラや昆布などから天然だしを取り、市販の調味料等は一切使わない。工夫としては、給食センターの施設や設備の機能及び職員の知識と経験を活かし、出来合いのものを使用しない献立を作成して、予算内で良質な食材を選定している。

議員 経費の上昇や給食費の無償化がなされていても、手作り給食の維持発展は欠かせないと考えるが、市の決意は、

議員 経費の上昇や給食費の無償化がなされていても、手作り給食の維持発展は欠かせないと考えるが、市の決意は、

公共施設等で休憩や水分補給ができるような熱中症対策の実施について市の考えは

クーリングシエルの指定について 本市の公共施設でも積極的に体制整備を進めていく

竹内 祐子 議員(共産)

市民が暑い日に外出する際、公共施設等で休憩や水分補給ができるような熱中症対策の実施について、市の考えは、

市民協働推進部長 猛暑日における公共施設などでの休憩は、非常に効果的であることから、令和6年春ごろに施行予定の改正気候変動適応法に伴う指定暑熱避難施設、いわゆるクーリングシエルの指定について、本市の公共施設でも積極的に体制整備を進めていく。

議員 地球温暖化対策との関係性からも緑の保全是身の周りの住環境等に有効であるが、街路樹等の樹木の保全に関する市の取組は、

都市整備部長 市の方針や計画に基づき、街路樹の適正管理及び市民協働による育成、都市計画道路における緑化スペースの確保などに取り組んでいく。

議員 自転車の安全な通行と運転ルールの周知を求めて、ESATJ英語スピーキングテストの都立高校入試への活用は中止を